

がわねほんちよう 社協だより

第28号

H25. 6. 27発行



たくさんの笑顔がつながりました



「リアル野球盤」の貸し出しを行います！
詳細は社協までご連絡ください！



平成25年3月31日（日）、川根本町福祉センターにて地域交流事業（公開イベント）を開催しました。

みどりの丘・みどりの丘えまつの作品展示や販売、リアル野球盤や施設内見学ツアーなどを通して、小さなお子さまから高齢者まで、地域の皆さまと触れ合うことができました。

・・・目次・・・

2-3P会長挨拶、居宅介護支援事業所について	4P社協組織変更・機構改革
5P職員紹介、善意銀行、ボランティア紹介	6P平成24年度事業報告
7P平成24年度社協会費実績報告、平成24年度共同募金使途報告		
8-9P平成24年度共同募金実績報告	10-11P平成24年度決算報告（一般会計）
12P平成24年度決算報告、予算（特別会計）	13P平成25年度事業計画
14-15P平成25年度予算（一般会計）	16Pお知らせ ほか

・お問い合わせ及び発行元・

社会福祉法人 川根本町社会福祉協議会

<川根本町福祉センター事務所> 〒428-0415 上岸90番地 TEL 59-2315 / FAX 59-4139

メールアドレス(代表) csw-honk@po2.across.or.jp ホームページ <http://kh-syakyo.com/>



この社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成金で作られています。



川根本町社会福祉協議会 会長挨拶



紫陽花が雨に映える季節となりました。アジサイは花言葉で「元気な女性」を意味するとも解されます。川根本町社会福祉協議会は職員 87 名のうち 64 名が女性であり、元気に活躍する女性たちの殿堂でもある「川根本町福祉センター」（上岸）、「中川根デイサービスセンター」（高郷）は今アジサイ色に輝いて見えますが、同時に昨年の今頃が思い出され私は深い感慨に浸ります。

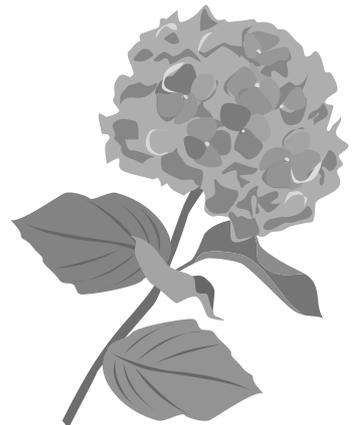
財政破綻寸前であった当社協は今再生の道を歩んでおりますが、平成 23 年度に発覚した介護事業の不祥事に関する返還金等の支払いで未曾有の介護保険運営積立預金の取崩し、さらには合併直後以降続いてきた収支悪化の補填をするための継続的な預金の取崩しが続く中で、このまま進めば平成 25 年度にも財源は枯渇するという経営の窮地を脱出するためこの 1 年間は試行錯誤の苦闘の日々でもありました。

本年 1 月の「社協だより」27 号では、「……平成 25 年 4 月 1 日からは、新生「川根本町社会福祉協議会」が動き出します。巳年にちなみ、生まれ清まる再生力で社協は復活します。」と申し上げました。今、社協を再びなんとか軌道に乗せることが出来たのは、町民の皆さまからの社協への変わらぬ親愛感を肌で感じそれを糧として職員共々頑張ってきた結果です。また、経営再建を進めるにあたって行政および町議会の深いご理解が頂けたことはこの上ない心の支えとなりました。町民の皆さま、議会、行政に対し改めて御礼を申し上げたいと思います。

平成 24 年度最後の日である 3 月 31 日は当社協始まって以来の職場公開イベントを開催しました。翌日の平成 25 年度スタートの日を迎えるに当たって“古い社協”からの脱皮を図る姿を町民の皆さまに見て頂きたかったからです。ご参加頂いた町民の方々との交流会や介護体験など新生社協の息吹を感じとって頂く「福祉センター館内見学ツアー」はおかげさまで好評を博し明日からの新たな出発に大きな勇気を頂きました。

経営再建を“3 段跳び”で表すと、平成 25 年度の「ステップ」を経て飛躍するのが 26 年度の「ジャンプ」とする目標を掲げていますが、このために平成 24 年度は助走を開始し第 1 段目の「ホップ」を踏みました。○財務状況の改善には可能性のあるものは大小関わらず即座に取り組む ○**経営改革の 3 つのビジョン**（機構改革：組織の再編成、業務改革：町民の期待に応えるサービスの展開、意識改革：職員の責任意識と業務意欲の向上 …「社協だより」27 号）を基にした行動への取組み、という難題な目標に向けてのチャレンジを指示し職員の懸命な努力と忍耐を強いました。その結果が 24 年度の収支状況に表れてきております（平成 24 年度決算報告をご参照下さい）。私の当初の想定を超える成績になっておりますが、これは職員の真摯な取り組みが相当に功を奏しているのだということをお伝えさせていただきます。

平成 25 年度につきましては、経営改革の 3 つのビジョンの具体的な展開、円滑な推進が目標となりますが、そのためには現行の社協内の諸制度の見直しも必要であります。本年度は、当社協の「第 2 次地域福祉活動計画（26 年度～28 年度）」策定の時期でもありますので、今後の当社協のあり方についての検討の中で皆さまからのご意見を頂戴しながら当社協の健全経営に資する制度見直しをしていきたいと考えております。



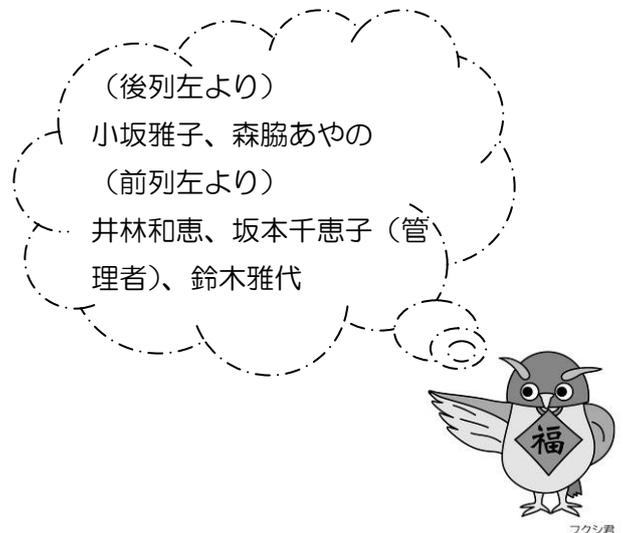
最後になります。平成 23 年度に発覚した介護事業の不祥事に伴う返還金等 4,400 万円の損害に関して、関与した業者に対する応分の負担の請求を当社協が行ってきた事案については、平成 23 年 1 月以降の専任弁護士による交渉の結果、平成 25 年 4 月 9 日付で「当社協は応分の負担の金銭請求を放棄する」ということで請求の棄却・和解が成立したことをご報告致します。

介護事業の不祥事の事件に関しては、その経緯が「社協だより」26 号に掲載されておりますが、“疑わしきは罰せず”の原則から証拠が残っていなければ（刑事的には）当事者の過失を問うことが出来ないということで、この事件は行政処分のみで平成 23 年度末までに決着をしております。関係した業者に対する応分の負担の請求に関しては、当社協の自由意志であります。司法的な見解ではやはり証拠がないためにこの請求は通らないということです。結果として、当社協が被った損害に関しての賠償については、“疑わしい”だけでは内外誰にも請求が出来ないということでもあります。当社協の発足した平成 17 年以降 23 年までの間続いてきた不祥事に証拠が発掘できなかったということ自体も不可思議であり理不尽な思いがありますが、残された大きな課題である「社協の信頼回復」、「失われた財源の回収」に対しては会長が先頭に立って立ち向かわざるを得ないという覚悟で改革 3 ビジョンを基にした“経営再建”を進めているところであります。

以上のような現況をお知らせ致しましたが皆さまには是非ご理解を頂き、今後のさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人川根本町社会福祉協議会
会長 原田 全 修

居宅介護支援事業所の体制が変わりました



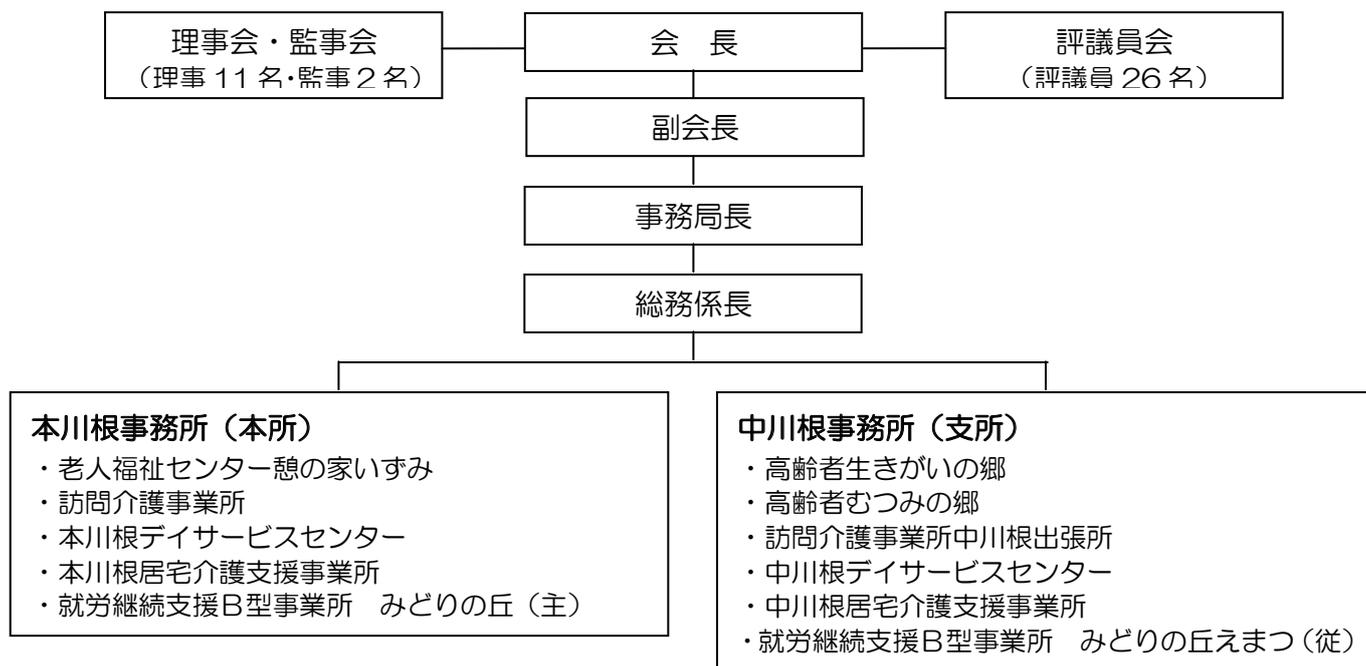
介護保険の計画、相談を行うケアマネジャー（以下、ケアマネ）の事業所が平成 25 年 4 月から川根本町社会福祉協議会居宅介護支援事業所として生まれ変わりました。

新たな事業所は、本町の福祉センター内にありますが、旧中川根地区の利用者さま宅へは、中川根デイサービスセンターを拠点に訪問活動を行っています。

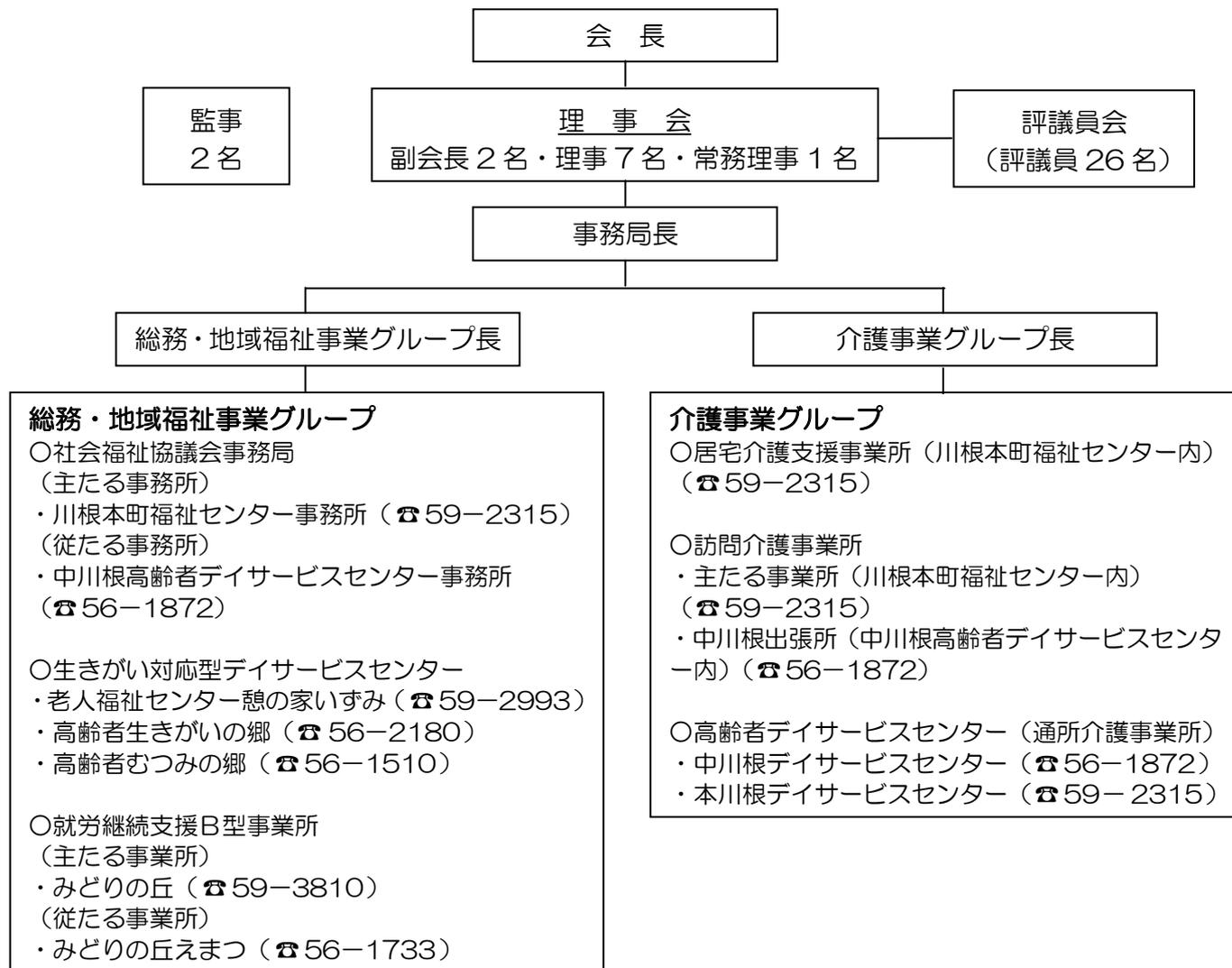
地域福祉を担う社協のケアマネとして、みなさまのご要望にお応えできるよう、川根本町全域どこにでもうかがいます。5 人のケアマネがそれぞれの個性を出し、連携を密にすることで、事業所として支援体制を整えており、みなさまに信頼される支援事業所になれるよう努めています。生まれ変わった事業所が、大きく育ち、社協独自のケアマネとしての役割が果たせるよう、がんばります。

平成25年4月からの社協組織変更・機構改革

(平成24年度まで)



(平成25年度から)



川根本町社会福祉協議会職員紹介

常務理事兼事務局長 大村敏正（行政派遣）

平成 25 年 6 月 1 日現在

【総務・地域福祉事業グループ】グループ長 中村 剛

（事務局）

中村 剛、佐藤聖子、加藤史崇、氣田明奈、山本真奈美（行政派遣）、松下くみえ（中川根高齢者デイサービスセンター勤務）

（みどりの丘）管理者 井澤勝博

松葉千晴、奈良間龍夫、小澤幸恵

（みどりの丘えまつ）サービス管理責任者 柿下雅子

笹木寿子、大村信子、松本美智子、金澤澄江

（老人福祉センター憩の家いすみ）管理者 中村 剛

酒井敬子、後藤幸代、滝浪達男、宮木政雄、松葉 猛

（高齢者生きがいの郷・高齢者むつみの郷）管理者 中村 剛

西澤和代、堀井皆子、藺田裕己子、杉山晴美、坂本喜代子、森脇倫世、八木明子、大村 久、山田豊司

【介護事業グループ】グループ長 坂本千恵子

（居宅介護支援事業所）管理者 坂本千恵子

鈴木雅代、井林和恵、小坂雅子、森脇あやの

（本川根デイサービスセンター）管理者 景山陽二

鈴木隆代、梶原孝亮、後藤美弥子、藤田勇人、曾我英幸、大竹勝子、森 政子、池田敏子、西本智美、榎田のり子、栗田里子、榎田佳代子、北川達子、西村佳子、山下道子、坂本純子、野村道明、村松久美子、柴 登志子、竹野夏江、西村 隆、中田軍二

（中川根デイサービスセンター）管理者 中村 博

大村文彦、池田直子、中野貴久乃、中村鈴代、藤田たき、川井香織、渡邊和子、澤谷理恵子、伊藤満里子、西村理保、竹腰真理、橋本智子、浜谷恵美子、荒間明子、仁木悦乃、橋本政克、杉本裕志、瀧澤政代、高畑道子、駒澤洋子、小澤卯多夫、杉本忠雄

（訪問介護事業所）管理者 鈴木充子

羽倉良江、赤土昌美、藤田千晶、山本かね子、高畑雪枝

「善意銀行」～心あたたまる善意をありがとうございます～

【寄付金の部】

平成 25 年 5 月 24 日現在、順不同

*崎平区 岩田 弘 様 *田代区 前澤ちか 様 *下泉区 西村 學 様 *匿名 様
*青部区 原田 誠 様 *福井県福井市 エネックス(株) 様（使用済インクカートリッジ回収業者）

【寄付物品の部】

*（社）島田法人会 青年部会 様 *さわんどクラブ 様 *千頭西区 坂本茂里 様

「ボランティアの輪」～ボランティア活動の紹介～

前山上岸花の会、上岸長生会、川根本町グリーン清掃ボランティアのみなさまに、福祉センターの花壇の手入れや、草取り、草刈りなどの活動をしていただいています。いつもありがとうございます！

次号では、デイサービスセンターなどでのボランティア活動について紹介します！！

平成24年度 川根本町社会福祉協議会事業報告

「川根本町社会福祉協議会地域福祉活動計画」(平成21～25年度)及び平成24年度事業計画に基づき、町民の積極的な理解と協力を得、更に関係機関や各種団体と連携をして、地域・在宅福祉活動の展開と「地域福祉の拠点づくり」を目指しました。概要については、次のとおり報告いたします。

◆会員数

- *普通会員 2,767世帯(年額500円)(H23年度2,774世帯)
- *賛助会員 64人(1口1,000円)(H23年度68人)
- *特別会員 96先(1口1,000円)(H23年度100先)

◆会議の開催

- *社会福祉協議会理事会(5回)
- *社会福祉協議会評議員会(3回)
- *社会福祉協議会会計監査会(1回)
- *市町社会福祉協議会一般指導監査(1回)
- *社会福祉協議会職員法令遵守研修会(2回)
- *社会福祉協議会運営会議(12回)
- *社会福祉協議会経営委員会(9回)



◆地域福祉啓発活動の推進

- *広報紙の発行(年2回、全世帯配布、窓口配布)
- *ホームページの開設(年度末アクセス数21,133件)
- *平成24年度静岡県健康福祉大会(10/18)
- *ふれあい広場開催事業(2回)
- *ふれあい・いきいき子育て事業(町内30地区)
- *善意銀行の運営(寄付金15件、寄付物品11件)
- *共同募金運動の実施
- *給食配食サービス事業(委託事業)総配食数5,250食
(平成25年3月31日で委託先変更)
- *福祉総合相談事業(取扱件数321件)
- *生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業・貸付件数1件)
- *小口資金貸付事業(取扱件数1件)
- *福祉サービス利用援助事業(県社協受託事業・契約件数4件)
- *本川根福祉センター指定管理業務(地域福祉センター)
- *福祉体験学習事業の実施
- *社会福祉関係団体の育成指導、活動支援
(町いきいきクラブ連合会、町民生委員児童委員協議会、町遺族会、町身体障害者福祉会)

◆竹製品共同製作事業

- *製品の買上/売上689枚 *製作従事者13名

◆ボランティア活動の推進

- *ボランティアの育成指導及び連絡調整
- *ボランティアの受入(延362名)H23年度299名
- *福祉ボランティア体験事業(延11名)
- *ボランティア会議の開催(町ボランティア連絡会・1回)
- *ボランティア養成講座(2回/延60名)



- *話相手ボランティア活動(利用者3名、活動者14名)
- *災害ボランティア関係会議、図上訓練等出席(9回)
- *災害ボランティア講座講演会(延79名)
- *災害ボランティアコーディネーター養成講座(修了者26名)
- *災害ボランティアコーディネーターの会定例会(7回)
- *災害ボランティアコーディネーターの会役員会(3回)
- *大阪府立大学生訪問

(災害ボランティアコーディネーターの会と交流、町内視察、徳山地区総合防災訓練参加)



↑災害ボランティアコーディネーター養成講座

◆介護保険事業(介護予防を含む)

- *居宅介護支援事業所(2事業所)
年間利用実人員 202名(H23年度187名)
- *訪問介護事業所(1事業所)
年間利用実人員 65名(H23年度68名)
- *通所介護事業所(2事業所)
年間利用実人員 166名(H23年度155名)



◆在宅福祉活動事業

- *生きがい対応型サービスセンター管理運営事業(委託事業)
実人員107名(H23年度121名)
- *障害福祉サービス居宅介護事業(2事業所)
実利用人員34名(H23年度27名)
- *福祉車両貸出事業
実人員16名(H23年度21名・1施設)
延利用回数56回(H23年度65回)
- *就労継続支援B型事業所の運営
(みどりの丘、みどりの丘えまつ)
登録人員24名(H23年度24名)



平成24年度 (福)川根本町社会福祉協議会 会費納入の御礼



このたびは、本会会費の納入方にあたり、町民のみなさまをはじめとした町内企業さま、福祉関係者のみなさまに過分なるご協力をいただき、まことにありがとうございました。みなさまからご協力いただきました会費（寄付金）については、本会における地域福祉活動（介護保険事業を除く）の貴重な財源として、全額活用させていただいております。については、本年度の納入実績を、下記のとおりご報告させていただきます。

☆納入実績額☆ 1,738,200円

1 普通会費・・・町内各世帯を対象に1世帯年額500円にてご依頼

ご協力世帯数	2,767世帯	納入金額	1,383,200円
--------	---------	------	------------

※川根本町全地区の皆様よりご協力いただきました。

2 賛助会費・・・民生児童委員、主任児童委員、本会理事・評議員の皆様を対象に1口1,000円にてご依頼

ご協力件数	64名	納入金額	66,000円
-------	-----	------	---------

3 特別会費・・・町内企業・法人・団体の皆様を対象に1口1,000円にてご依頼

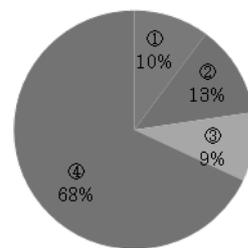
ご協力件数	96先	納入金額	289,000円
-------	-----	------	----------

平成24年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金使途報告

平成24年度も、みなさまより赤い羽根共同募金（一般募金）に1,307,593円、歳末たすけあい募金に1,465,674円のあたたかいご寄付が寄せられました。ご協力、まことにありがとうございました。下記のとおり、事業を実施いたしましたので、ご報告させていただきます。

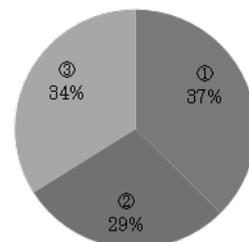
赤い羽根共同募金（一般募金）助成事業（総事業費1,281,227円）

区分	事業名
① 高齢者	サロン活動事業費助成事業
② 障がい児・者	民生委員児童委員協議会と施設通所者との交流事業、知的障がい者交流事業
③ 児童・青少年	民生委員児童委員協議会と小学生との交流事業、児童遊具整備補修事業
④ 住民全般	社協広報紙発行事業、小地域福祉活動推進事業、ふれあい広場開催事業、ボランティア活動視察研修助成事業、災害ボランティアコーディネーター支援事業



歳末たすけあい募金助成事業（総事業費560,895円）

区分	事業名
① 高齢者	独居高齢者に対する友愛訪問事業、独居高齢者交流事業（日赤ふれあいのつどい）
② 障がい児・者	在宅障がい者に対する友愛訪問事業
③ 住民全般	低所得世帯に対する友愛訪問事業



※募金額との差額904,779円は、平成25年度川根本町社会福祉協議会の地域福祉事業費として助成されます。

平成24年度 赤い羽根共同募金実績報告

実績額 1,307,593 円

目標額1,568,000円(達成率83.3%)

区分	金額
戸別募金	825,400 円
法人募金	325,000 円
職域募金	39,034 円
学校募金	66,671 円
その他	51,488 円

みなさまからお寄せいただいた赤い羽根共同募金(10月1日~12月31日)は、静岡県共同募金会へ全額送金いたしました。

この募金は、翌年度静岡県内の市町社協並びに民間社会福祉施設・団体に助成されます。

本年度もあたたかいご寄付を頂戴いたしましたので、下記に記載させていただきます。



順不同・敬称略

● 戸別募金 ●

接祖区、大間区、奥泉区、大谷区、沢間区、桑野山区、平栗区、寺馬区、千頭西区、千頭東区、小長井区、上岸区、前山区、田代区、柳三区、崎平区、青部区、坂京区、洗富小幡区、藤川区、水川区、上長尾区、高郷区、八中区、梅高区、下長尾区、瀬平区、久保尾区、久野脇区、地名区、下泉区、老町河内区、田野口区、徳山区

全三十四地区

● 法人募金 ●

タカドビルサービス、(株)石切山建設、(株)川根香味園、(株)シーテック大井川営業所、(株)神田組、(株)長島園、J A 大井川本川根支店、森林組合おおいがわ本川根支所、(株)大庭組、大井川鐵道(株)、川根物産(株)、(株)カーケア中原、大鉄タクシー(株)、川根本町商工会本川根支所、(株)井澤鐵工所、(株)民宿茶どころ、(株)フアッシュョンおくだ、川根ガス(株)千頭営業所、(株)川根衛生社、(株)徳山シューズ、(株)川根浄化槽管理センター、(株)セズ石油、東海電設、(株)千頭温泉、(株)本川根歯科医院、(株)芹澤微生物研究所、(株)柳澤組、(株)小池工務店、(株)大窪ストアー、(株)森下自動車、(株)安竹こんにゃく、(株)ゴトー鉄工、岡本石油、(株)マエテック、(株)ヤマカノウ、坂本園、(株)神谷電気商会、川根インダストリー(株)、ケーブルテクニカ(株)、(株)澤本園、(株)梶山組、高田屋商事合名会社、(株)中村工務店、(株)西村工務店、静岡県中川根町村おこし物産品、森脇建設(株)、(株)梅野屋、(株)太田鐵工所、(株)ライフサポート、(株)伸光建業、(株)ひまわり、島田信用金庫川根支店、(株)小沢商店、(株)長塚石油、(株)エム・エー・フジタ、川根自動車(株)、(株)長塚組、(株)富田工務店、川根本町商工会、(株)ながつか、(株)中央ホーム建材、上長尾診療所、(株)山下建築(農)中川根はちなか園、(株)神原自動車整備工場、(株)河畑自動車、神谷建設(株)、(株)中コン、(株)河畑工業、(株)ふれあい、(株)山本鉄工、(株)川根工務店、川根自動車整備協業組合、(株)川根給食、川根茶業協同組合、(株)橋本製茶、医療法人社団下長尾大下医院、J A 大井川中川根支店、(株)ミズグチ、(農)あすなる、(農)わらやま、(株)光和、(株)荒間建設、(株)諸田製茶、(株)金正園、くのわき茶農業協同組合、(株)藤原組、(農)丸改地名製茶組合、(株)地名モーターズ、(株)西村電設、(株)泉電機三立興業(株)、徳山建設(株)、山元(株)、(株)まつおか薬局、(株)ヤマタ、(株)カーサービスマツモト、(株)澤本建設、(株)ナカザワ工業、(株)森下商会、(株)みなみ、(株)上野製作所、(株)大畑、(株)建商 計百十二件

● 職域募金 ●

(株)ケーブルテクニカ(株)、川根本町役場職員互助

会、(福)川根本町社会福祉協議会 計三件

● 学校募金 ●

中川根南部小学校、中央小学校、中川根第一小学校、中川根中学校、本川根小学校、本川根中学校、川根高等学校 計七校

● その他 ●

藤田正好、太田瑞枝、大村廉平、崎平明寿会ふるさと祭り収益、街頭募金、設置募金箱(千頭募所、中川根郵便局) 計一七件



平成24年度 歳末たすけあい募金実績報告



みなさまからお寄せいただいた歳末たすけあい募金（12月1日～12月31日）は、静岡県共同募金会へ全額送金いたしました。

川根本町では、町社会福祉協議会を通じて町内で支援を必要とされる方への友愛訪問事業、日赤奉仕団主催のふれあいのつどい開催助成金など、歳末特別事業の経費として助成させていただきました。

実績額 1,465,674 円
目標額 1,244,000 円(達成率 117.8%)

区分	金額
戸別募金	828,500 円
法人募金	117,678 円
その他	519,496 円

順不同・敬称略

● 戸別募金 ●

- 接叡区、大間区、奥泉区、大谷区、沢間区、桑野山区、平栗区、寺馬区、千頭西区、千頭東区、小長井区、上山区、前山区、田代区、柳三区、崎平区、青部区、坂京区、洗富小幡区、藤川区、水川区、上長尾区、高郷区、八中区、梅高区、下長尾区、瀬平区、久保尾区、久野脇区、地名区、下泉区、老町河内区、田野口区、徳山区

全三十四地区

● 法人募金 ●

- ・ 中部電力(株)大井川電力センター
- ・ 川根自動車(株)
- ・ 矢崎計器(株)島田製作所
- ・ 矢崎エナジーシステム(株)計装事業部全矢崎労働組合島田支部
- ・ (有)榊原自動車整備工場
- ・ 三立興業(株)
- ・ 匿名(一件)

計六件

● その他 ●

- ・ 佐藤 進
- ・ 太田瑞枝
- ・ 三津間白寿会
- ・ 春澤規雄
- ・ 下泉和楽会
- ・ 瀬平福寿会
- ・ 水川長寿会
- ・ 八木 恕
- ・ 地名楽友会
- ・ 田野口たのしみ会
- ・ 鳥本勇一
- ・ 久野脇さわやか会
- ・ 藤田 進
- ・ 藤田健吾
- ・ 諸田きほ
- ・ 堤 弘司
- ・ 久保尾朗友会
- ・ 藤田正好
- ・ 梅高ほほえみ会
- ・ 八中楽寿会
- ・ おじさんキッチン
- ・ 高郷ひまわり会
- ・ 山本 亘
- ・ 長島和子
- ・ 大石康二
- ・ 中村甫一
- ・ 川根本町職員互助会



- ・ 橋本みよ
- ・ 高郷楽寿会
- ・ 藤川西部長寿会
- ・ 藤川東部長寿会
- ・ 中原智弘
- ・ 上長尾楽寿会
- ・ 小澤 明
- ・ 梶山喜久雄
- ・ 澤井陽太郎
- ・ 下長尾百寿会
- ・ 森下文子
- ・ 高木久美江
- ・ 久野脇松寿会
- ・ 上長尾勝手に盛り上げる会
- ・ 松下武晴・紳吾
- ・ 徳山寿会
- ・ 藤弦会
- ・ 小川正雄
- ・ 匿名(五名)
- ・ 設置募金箱(三箇所)

計五十三件



← 中川根中学校様



← 中川根南部小学校様



← 中部電力(株) 大井川電力センター様



← 本川根中学校様



← 中川根第一小学校様



← 中央小学校様

※赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の使い道については、P8をご覧ください。
あなたがたいご理解とご協力、ありがとうございました。

介護保険事業	154,161	188,222	34,061	184,240	174,212	△10,028
訪問介護事業	15,895	18,280	2,385	26,085	22,915	△3,170
訪問入浴介護事業	0	0	0	92	45	△47
通所介護事業	※ 116,889	※ 146,033	29,144	☆ 127,824	☆ 122,935	△4,889
福祉用具貸与事業	0	0	0	0	0	0
居宅介護支援事業	※ 21,377	※ 23,909	2,532	☆ 30,239	☆ 28,317	△1,922
法人運営事業	※ 27,020	※ 27,184	164	☆ 49,147	☆ 46,210	△2,937
経理区分間繰入金	47,873	31,753	△16,120	47,873	31,753	△16,120
経常活動計	283,617	296,600(1)	12,983	342,746	302,469(2)	△40,277

◇資金収支計算書<施設整備等・財務活動>

収入の部 (単位：千円)

科目 (内訳)	予算額	決算額	増減
施設整備等収入計(3)	0	0	0
積立預金取崩収入	49,784	25,289	△24,495
その他の収入	※ 0	※ 0	0
財務収入計(5)	49,784	25,289	△24,495
前期末支払資金残高(7)	20,983	38,995	18,012
収入総額 (1)+(3)+(5)+(7)	354,384	360,884	6,500

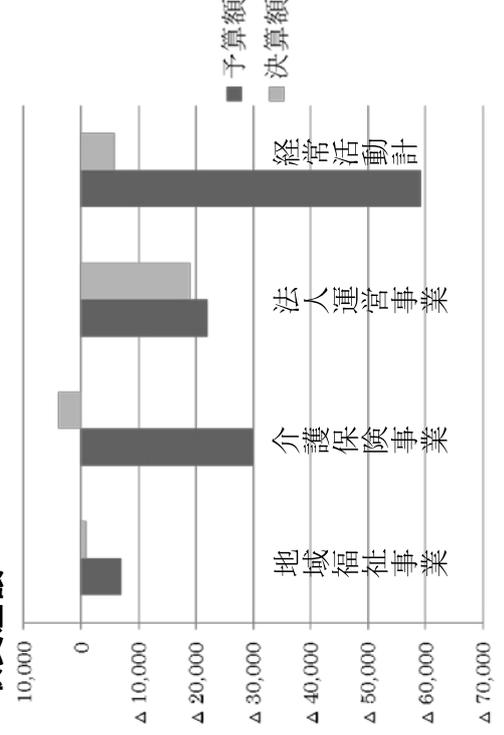
※退職共済預け金差益、退職共済預け金返還金収入を除く

支出の部 (単位：千円)

科目 (内訳)	予算額	決算額	増減
施設整備等支出計(4)	105	467	362
基金積立預金積立支出	1	0	△1
積立預金積立支出	150	25	△125
その他の支出	8,382	8,340	△42
財務支出計(6)	8,533	8,365	△168
予備費(8)	3,000	0	△3,000
支出総額 (2)+(4)+(6)+(8)	354,384	311,301	△43,083

収支差額

☆退職金を除く

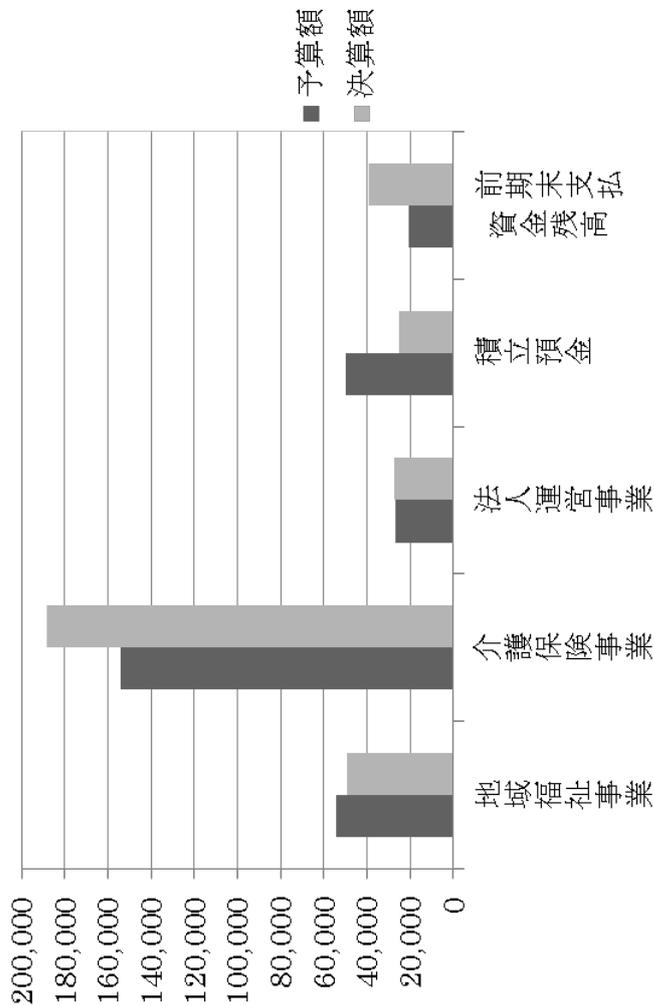


平成 24 年度一般会計経常活動費の当初予算額は収入 283 百万円に対して支出 342 百万円であり、59 百万円の赤字を予想していましたが、決算額は収入 296 百万円に対して支出 302 百万円であり、6 百万円の赤字に減少しました。結果として赤字補填のための積立預金の取崩しは、当初の 49 百万円の予想を 25 百万円に減少させることができ、当初予想の収支を大きく改善させることができました。これは介護保険事業の当初予算での 30 百万円の赤字予想が決算では 14 百万円の黒字に転換できたことが大きな要因です。介護保険事業の収支改善の主なものとは訪問介護、通所介護、居宅介護支援の利用実績増による収入増によるものです。

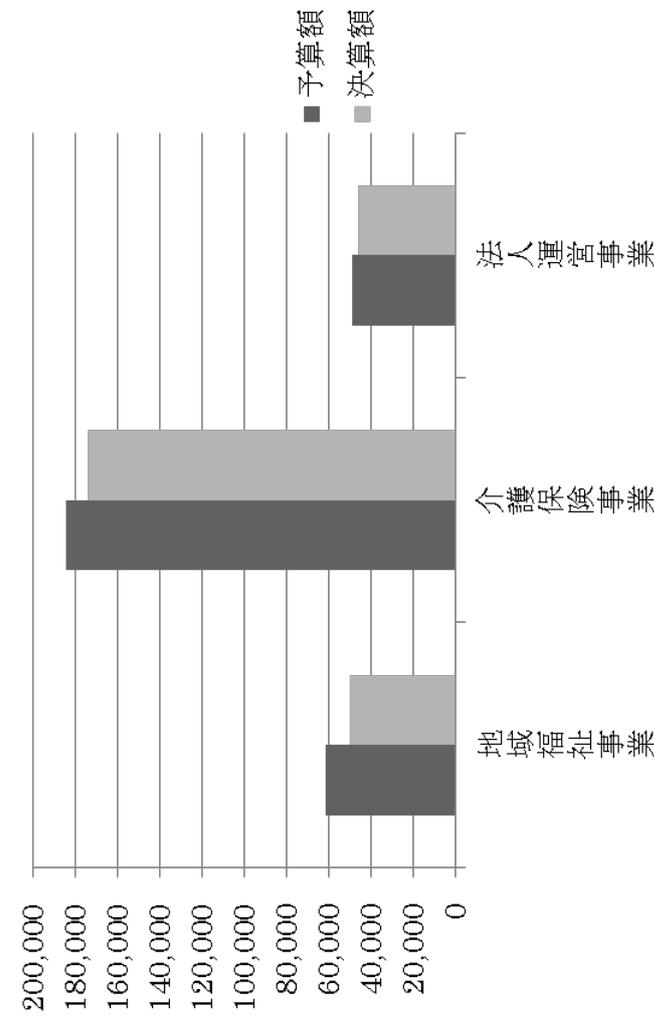
また、地域福祉事業では当初予算での 6.9 百万円の赤字予想が決算では 0.9 百万円の赤字に減少により 6 百万円の収支改善、法人運営事業では当初予算での 22 百万円の赤字予想が決算では 19 百万円の赤字に減少により 3 百万円の収支改善ができましたが、これらは職員の 12 月期末勤労手当の一部カット、平成 25 年の定期昇給見送り等を含めた人件費や諸経費の手当の削減が主なものです。

平成24年度 川根本町社会福祉協議会決算報告（一般会計）

収入の部



支出の部



◇資金収支計算書〈経常活動〉

(単位：千円、△三減)

科目（内訳）	収入の部		増減	支出の部		増減
	予算額	決算額		予算額	決算額	
地域福祉事業	54,563	49,441	△5,122	61,486	50,294	△11,192
地域福祉事業	620	503	△117	620	503	△117
助成事業	7,479	6,392	△1,087	8,177	6,887	△1,290
共同募金配分事業	2,477	1,837	△640	2,510	1,842	△668
居宅介護等事業	5,631	4,284	△1,347	5,790	3,956	△1,834
福祉サービス利用援助事業	532	483	△49	4,855	2,054	△2,801
障害福祉サービス本川根居宅介護事業	594	1,175	581	594	286	△308
生かがい活動支援通所事業	31,855	29,482	△2,373	33,365	29,406	△3,959
福祉社外受託運営事業	4,221	4,221	0	4,421	4,296	△125
福祉総合相談事業	1,154	1,064	△90	1,154	1,064	△90

平成24年度 川根本町社会福祉協議会決算報告（特別会計）

【事業活動収支計算書】 収益事業特別会計(竹製品共同製作事業)

(単位：円、△＝減)

科目(内訳)	収入の部			支出の部		
	予算額	決算額	増減	予算額	決算額	増減
事業活動	3,186,000	2,439,060	△746,940	3,070,000	2,222,651	△847,349
事業活動外	0	4,779	4,779	150,000	150,000	0
合計	3,186,000	2,443,839	△742,161	3,220,000	2,372,651	△847,349

平成23年度は、竹製品の製作に18名が従事され、6社の業者と取引し、866枚(2,762,540円)の売上がありましたが、平成24年度は、竹製品の製作に13名が従事され、7社の業者と取引し、689枚(2,439,060円)の売上となりました。

【資金収支計算書】 就労支援施設特別会計(就労継続支援B型事業 みどりの丘・みどりの丘えまつ)

(単位：円、△＝減)

科目(内訳)	収入の部			支出の部		
	予算額	決算額	増減	予算額	決算額	増減
就労支援事業	3,096,000	2,806,841	△289,159	3,327,000	3,046,506	△280,494
福祉事業	24,757,000	26,386,573	1,629,573	28,351,000	26,726,848	△1,624,152
財務	3,754,000	3,753,720	△280	569,000	561,093	△7,907
前期末支払資金残高(繰越金収入)	1,240,000	11,767,997	10,527,997	—	—	—
予備費	—	—	—	600,000	0	0
合計	32,847,000	44,715,131	11,868,131	32,847,000	30,334,447	△2,512,553

収支差引残高14,380,684円は、次年度へ繰越

平成25年度 川根本町社会福祉協議会予算（特別会計）

【事業活動収支計算書】 収益事業特別会計(竹製品共同製作事業)

(単位：千円、△＝減)

科目(内訳)	収入	支出
事業活動	7,563	2,393
事業活動外	4,830	10,000
合計	12,393	12,393

竹製品保管倉庫(高郷)が道路拡張工事の区域該当するため、町から保管倉庫撤去の要請があり、今年度中に事業を廃止します。保管倉庫解体費用が主な経費となっています。

【資金収支計算書】 就労支援施設特別会計(就労継続支援B型事業 みどりの丘・みどりの丘えまつ)

(単位：千円、△＝減)

科目(内訳)	収入	支出
就労支援事業	3,296	3,546
福祉事業	25,178	26,007
財務	0	569
前期末支払資金残高(繰越金収入)	2,248	0
予備費	600	600
合計	30,722	30,722

工賃の面では、新規作業の拡大など仕事の幅を増やして行き、事業面では研修旅行など交流事業を行います。

生活全般の支援を必要とする利用者が多くなり、B型の枠を超えた支援が課題となってきています。

平成25年度 川根本町社会福祉協議会事業計画

基本目標 安心安全の支えあいの地域づくり

助け合いと暮らしやすい地域づくりの推進

* 地域の子育て支援活動の推進

- ・ 町内児童遊園地の修繕費の助成

* 高齢者の生きがい支援の充実

- ・ ふれあい・いきいき川の推進
- ・ 友愛訪問への支援 ・ 介護予防活動補助金の交付

* 当事者の組織化と福祉関係団体への支援

- ・ 福祉関係団体の自立的運営への支援

* 地域生活支援の推進

- ・ 民生委員児童委員の活動強化
- ・ 地域生活を継続するための経済的支援の促進
(生活福祉資金・小口資金・高額療養費の利用促進)
- ・ 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の推進



ボランティア活動への参加の促進

* ボランティア活動の場づくり

- ・ 登録ボランティア(団体・個人)制度の強化

* ボランティアの情報提供・広報啓発・情報交換の充実

- ・ ボランティアの情報提供、広報啓発、情報交換の充実
- ・ 川根本町ボランティア連絡会活動の推進と情報紙の発行

* ボランティアの養成

- ・ ボランティア養成講座の開催
- ・ 話相手ボランティア養成講座の開催
(共催：町地域包括支援センター)



* ボランティアセンター機能の構築

- ・ ボランティアの相談、連絡、調整、斡旋機能の強化
- ・ ボランティア保険の加入促進
- ・ 災害ボランティア受入れ体制の整備
(災害ボランティアセンター立上げ訓練の実施等)

福祉の理解と関心を高める福祉教育の推進

* 福祉の理解と知識を深めるための福祉教育の推進

- ・ 出前講座の実施
- ・ 第3回川根本町社会福祉大会の開催

* 学校・地域・家庭が一体となった福祉教育の推進

- ・ 学校、家庭や地域、企業における福祉教育の推進
- ・ 福祉関係機関、その他連携が考えられる機関との体制整備
- ・ 社会福祉協議会における福祉教育の体制整備

福祉の情報提供・相談・ニーズ把握体制の構築

* 福祉の情報提供の充実

- ・ かわねほんちょう社協だよりの充実 ・ 社協の広報、事業紹介パンフレットの配布 ・ インターネットを活用した情報提供

* 総合相談体制の確立

- ・ 福祉総合相談、よろず相談、無料弁護士相談の充実
- ・ 相談員の相談技法向上講座の開催

* 住民の福祉ニーズの把握

- ・ 必要に応じた住民福祉ニーズ調査の実施



福祉サービスの充実

* 介護予防・生活支援サービスの充実

- ・ 軽度生活援助事業、生きがい活動支援通所事業の充実
- ・ 福祉車両貸出事業の実施 ・ 生活林業事業の実施

* 介護保険サービス及び介護予防サービスの充実

- ・ 居宅介護支援、訪問介護、通所介護サービスの充実

* 障がい者福祉サービスの充実

- ・ 障がい福祉サービス事業就労継続支援 B 型、障がい福祉サービス居宅介護事業、地域生活支援事業の充実
- ・ 障がい福祉サービス事業同行援護、行動援護の実施検討

* ケアマネージメント体制の強化

- ・ 関係機関、団体との連携強化 ・ ケース検討会、研究会の充実
- ・ 町地域サービス担当者会議への参加

社会福祉協議会の発展・強化

* 社会福祉協議会運営・経営体制の基盤強化

- ・ 機構改革による経営の合理化 ・ 職員の意識改革による責任意識と業務意欲の向上の喚起 ・ 第2次川根本町社会福祉協議会地域福祉活動計画の策定(平成26~28年度)
- ・ 運営、経営に関する諸制度の見直しによる体制の基盤強化 ・ 監査体制の強化 ・ 指定管理者制度による町施設の指定管理の強化

* 財政基盤の強化

- ・ 住民の期待に応えられる住民サービス事業の拡張による収入増を図る ・ 公的財源、民間財源の確保

* サービス苦情受付、苦情解決、個人情報保護体制の整備

- ・ 苦情受付、苦情解決体制の整備 ・ 個人情報保護体制の強化

* 事務局体制の強化

- ・ 機構改革の実施による事務局体制の強化

介護保険事業	183,125	154,161	28,964	190,441	184,240	6,201
訪問介護事業	18,008	15,895	2,113	21,555	26,085	△4,530
訪問入浴介護事業	0	0	0	0	92	△92
通所介護事業	140,117	※ 116,889	23,228	142,791	☆ 127,824	14,967
福祉用具貸与事業	0	0	0	0	0	0
居宅介護支援事業	25,000	※ 21,377	3,623	26,095	☆ 30,239	△4,144
法人運営事業	44,050	※ 27,020	17,030	33,817	☆ 49,147	△15,330
経理区分間繰入金	9,297	47,873	△38,576	9,297	47,873	△38,576
経常活動計	(1) 289,520	283,617	5,903	(2) 290,760	342,746	△51,986

◇資金収支計算書<施設整備等・財務活動>

科目 (収入内訳)	平成25年度予算額	平成24年度予算額	増減
施設整備等収入計(3)	0	0	0
積立預金取崩収入	9,655	49,784	△40,129
その他の収入	0	※ 0	0
財務収入計(5)	9,655	49,784	△40,129
前期末支払資金残高(7)	5,318	20,983	△15,665
収入総額 (1)+(3)+(5)+(7)	304,493	354,384	△49,891

※退職共済預け金差益、退職共済預け金返還金収入を除く

科目 (事業別内訳)	平成25年度予算額	平成24年度予算額	増減
施設整備等支出計(4)	0	105	△105
基金積立預金積立支出	1	1	0
積立預金積立支出	100	150	△50
その他の支出	6,832	8,382	△1,550
財務支出計(6)	6,933	8,533	△1,600
予備費(8)	6,800	3,000	3,800
支出総額 (2)+(4)+(6)+(8)	304,493	354,384	△49,891

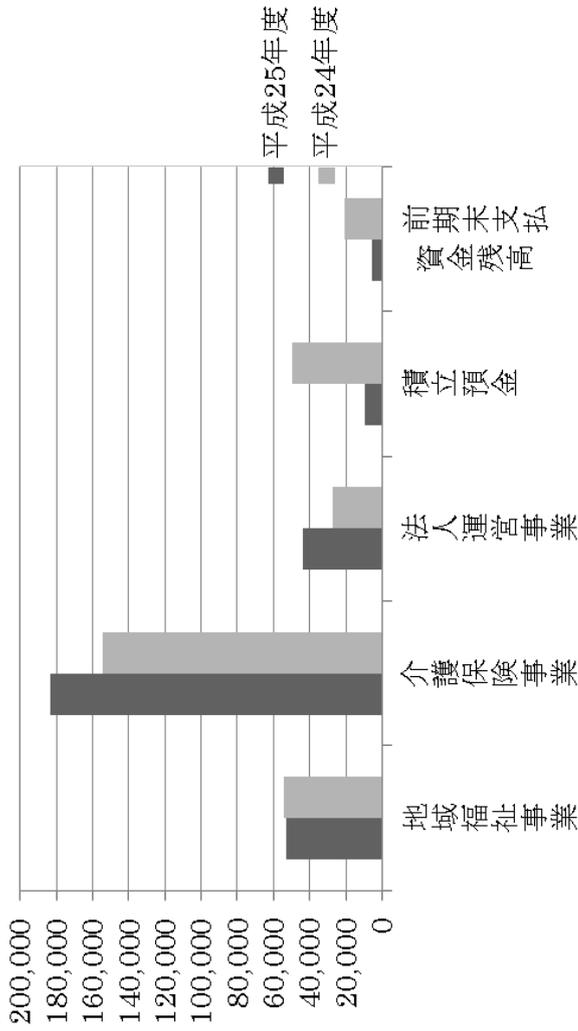
☆退職金を除く

平成25年度の収入について、介護保険事業は通所介護・訪問介護の日曜・祝祭日のサービスを行うことによって、前年度対比29百万円の収支増を見込んでいます。法人運営事業は、いさぎクラブの活動支援の強化など町からの委託事業費の増額および収益事業（竹製品共同製作事業）の事業廃止による特別会計からの繰入により、前年度対比17百万円の増額を見込んでいます。

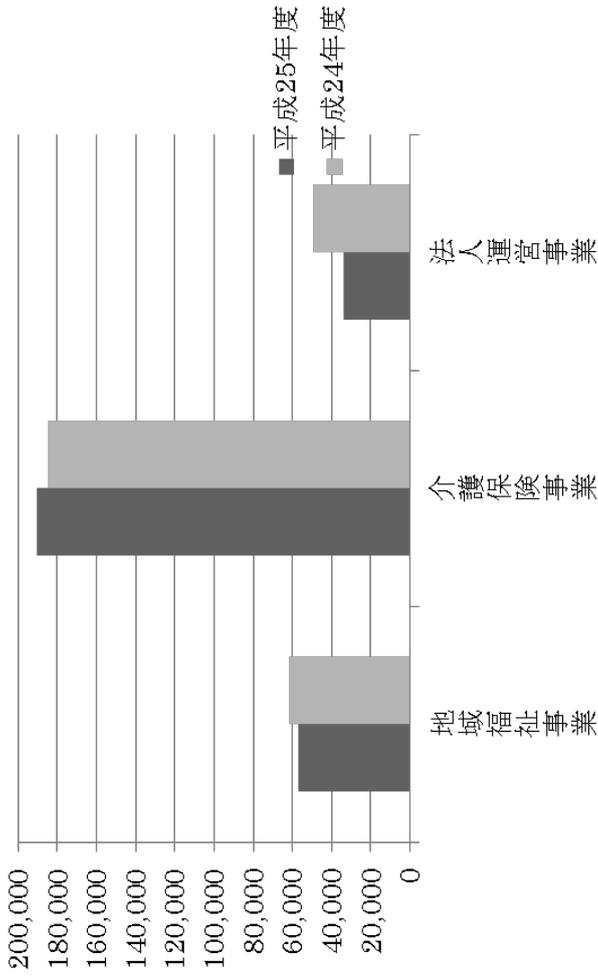
また、支出については、事務所・事業所の統合による要員の合理化や定年制の変更等による人件費の削減により、特に法人運営事業は前年度対比15百万円の減額となりました。収支が改善され、積立預金の取崩（積立預金取崩収入）は今年度9百万円で、前年度対比40百万円の減額となりました。予算総額は304百万円で、前年度対比49百万円の減額となりました。

平成25年度 川根本町社会福祉協議会予算（一般会計）

収入の部



支出の部



◇資金収支計算書〈経常活動〉

(単位：千円、△＝減)

科目（内訳）	収入の部		支出の部		増減
	平成25年度予算額	平成24年度予算額	平成25年度予算額	平成24年度予算額	
地域福祉事業	53,048	54,563	57,205	61,486	△4,281
地域福祉事業	1,013	620	1,335	620	715
助成事業	10,003	7,479	10,534	8,177	2,357
調査・研究事業	0	0	3,422	0	3,422
共同募金配分金事業	2,989	2,477	3,000	2,510	490
居宅介護等事業	0	5,631	235	5,790	△5,555
福祉サービス利用援助事業	532	532	532	4,855	△4,323
障害福祉サービス本川根居宅介護事業	644	594	644	594	50
生きがい活動支援通所事業	32,362	31,855	31,818	33,365	△1,547
福祉ワカ-受託運営事業	4,198	4,221	4,378	4,421	△43
福祉総合相談事業	1,307	1,154	1,307	1,154	153

地域で咲かせよう！やさしい心 — 中学生福祉体験学習 —

平成25年5月、町内の中学2年生が福祉体験学習を3日間行いました。

(本川根中学校…社会福祉法人天竜厚生会 中川根中学校…町内福祉施設9ヶ所)

この体験学習に向け、車椅子・高齢者疑似体験や認知症サポーター養成研修・講話の受講など、事前学習を通して福祉について学びました。



今回の学習で、どんなことに気づき、どんなことを考えたのか、友だちや家族に話してみましよう。新たな発見ができるかもしれません。

そして、それを普段の暮らしの中で活かせるよう、行動していきましょう！



↑ 認知症サポーター養成研修(左:中中 右:本中)



↑ 施設通所者との交流(中中)



↑ 車椅子体験(本中)

あなたの悩み、聞かせてください！ 「社協の福祉総合相談」

川根本町社会福祉協議会では、町民のみなさんが安心して、いきがいをもてる生活を送ることができるように、福祉に関するあらゆる相談に応じます。

「どこに相談してよいか、わからない…」

「ふだんのお金の管理が心配になった…」

「借金が増えてしまって困った…」

…といったお問い合わせにも、適切な対応や情報提供ができるように努めます。

お一人で悩まず、まずはお気軽にご相談ください。個人情報は厳守します。

【曜日】月～金曜日

【時間】8:15～17:00

【費用】無料

【お問い合わせ】

川根本町福祉センター事務所

☎9-2315 担当：佐藤・山本



みなさまのご意見を お寄せください！

現在、社会福祉協議会では、福祉センター玄関、中川根デイサービスセンター玄関にご意見箱を設置しております。

これは、介護サービスご利用者さま、ご家族さま、来館者さま、全ての人たちを対象にさまざまなご意見、苦情等を伺い、社協が内外共に、介護サービスや地域福祉を担う役割としての質の向上を目的とするものです。

また、今後は、ホームページやfacebook(フェイスブック)などを活用した情報収集、発信を進めていきたいと考えております。

詳細につきましては、夏までにみなさまにお知らせいたします。

みなさまのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。



フクシマ